

- 1 派遣期日 令和元年11月15日(金)
- 2 研修先 学校名 大洗町立大洗小学校・大洗町立第一中学校
 所在地 東茨城郡大洗町磯浜町 5316-1 (大洗小学校)
 東茨城郡大洗町磯浜町 5247 (第一中学校)
<http://www.oarai-oarai-el.ed.jp/> (大洗小学校)
<http://www.oarai-daiichi-jh.ed.jp/> (第一中学校)

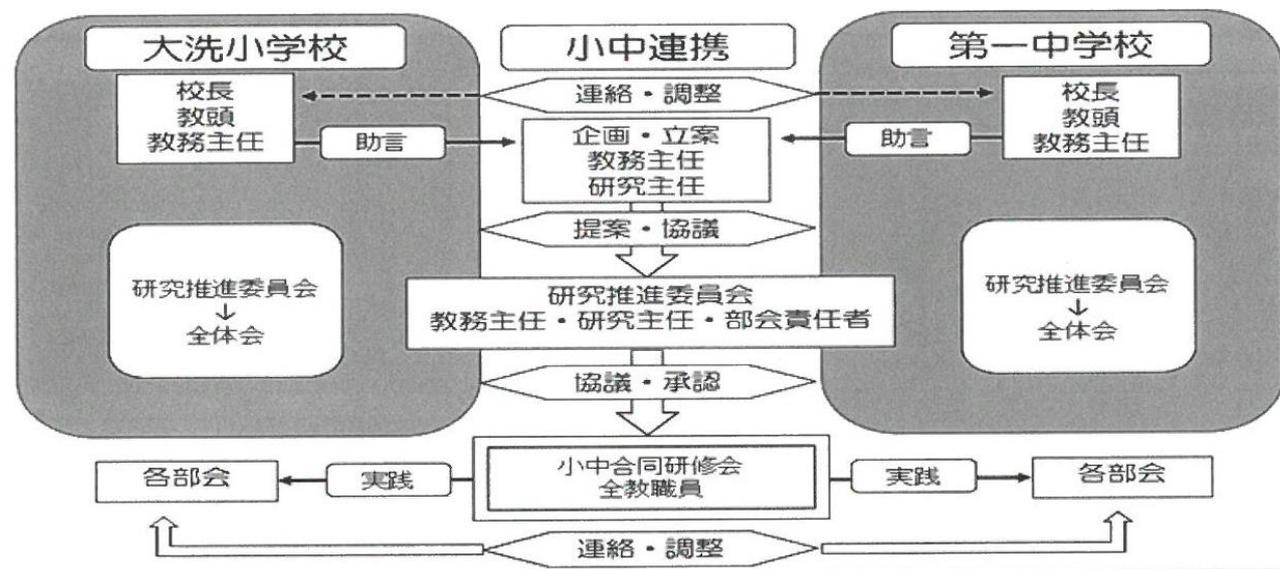
3 研修内容

(1) 研究主題

児童・生徒の「輝」をつなぐ小中連携の実践
 ～個々の能力に対応した授業の工夫を通して～

第一中学校は、今年度、茨城県教育委員会の「学力向上推進プロジェクト事業に係る少人数指導の充実に関する指導方法等の実証研究」の実証研究校になっている。一方、大洗小学校では、学級づくり担当や少人数指導担当の教職員がおり、学級を分割し弾力的に授業を展開している。このことから、以前より取り組んでいた「学び合い」のさらなる充実を図るとともに、少人数、TT 指導や習熟度別指導など効果的に取り入れ、確かな学力の習得を目指している。さらに、「全員がわかる・できる授業」の実現のために、ICT 機器の積極的活用、振り返り活動の充実、思考過程の可視化のための板書づくりなど、授業改善に取り組んでいる。

(2) 小中連携の組織構成



小中合同研究推進委員会を中心に、小中連携の実践内容や日程、部会構成、紀要内容等を検討し、小中学校全職員で小中連携の実践を進めている。

(3) 小中連携実践のねらい

- ・小中学校が互いの教育活動を理解し、9年間で育てたい子どもの姿を共有し、育成する。
- ・小中学校で互いに情報を共有し合い、協力して教育課程の改善に努める

(4) 小中連携の実践

実践テーマ

確かな学力の習得と個々の能力に対応した授業の工夫

共通理解

学び合いの充実と TT 指導や習熟度別指導など授業形態を工夫する。

【中学校】

- ① 1人1人の習熟の程度に応じた少人数指導の実施
発展的な問題に取り組むアドバンスコースと、基礎・基本の定着を目指すスタンダードコースに分かれ、学習内容の習熟の程度に応じた指導を行っている。
- ② 学習スタイルの確立
小学校で行われていた「も・み・じ・と・ま・れ・ふ」の学習スタイルを引き継ぎながら、ウォーミングアップ問題や、振り返りの時間を重視し、学力の向上を図っている。

【小学校】

- ① わかる・できる・活用する授業
ペア、グループ学習を取り入れた「学び合い」の充実によって、確かな学力の習得を図っている。また、UD教育やICT機器の効果的活用によって「全員がわかる・できる授業」の実現を目指している。
- ② 多様な授業形態の工夫
担任と学級づくり担当、少人数指導担当教員が連携し、少人数・TT指導や習熟度別指導を展開している。個々の能力に、きめ細かく対応することで学力の向上を図っている。

(5) 本年度の実践（授業づくりの連携）

- ① 相互授業参観
小中学校で行われる各種訪問指導やプレ授業を互いに参観できるように、両校の教務部で連絡を密に取り合い日程や時間割を調整している。この相互授業参観から、児童生徒の発達段階に応じた指導の手立ての工夫や系統的な授業スタイルの構築に向けて取り組んでいる。
- ② 合同研修
小中合同研修会は、小中学校の教員が一堂に会して、本年度の小中連携の基本的な考え方を共有する場となっている。7つの部会（算数・数学、理科、道徳、健康教育、ICT、生徒指導、日本語指導・特別支援）では、現状や課題について共通理解を図り、課題解決に向けて協議を行った。また、授業における具体的な手立てについて検討を重ねて指導案を作成するなど、合同で授業づくりを行っている。
- ③ 兼務発令教諭による授業の支援
本年度は、中学校理科と保健体育科の兼務発令教諭2名が、小学校4年生の理科と6年生の体育の授業を担当している。中学校の専門性を生かした学習の工夫等により、児童の学習への意欲を高め、児童の学力や体力の向上を図るとともに、小学校教員の授業力向上にもつながっている。

4 感想

大洗小学校・第一中学校における、小中連携としての様々な活動や成果を知ることができた。活動は、すぐにでも授業に取り入れられる内容や、長い時間をかけてICTの研修をしていかななくては実現できないものまで様々なものがあったが、どれも新鮮で貴重な授業を参観させていただいた。短い時間ではあったが、今回の研修における貴重な経験を、現在所属している中里小・中学校での授業や行事、そしてこれからの自分の教員人生にも役に立てていきたい。